



国土交通省

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和元年7月18日

平成30年度完成 優良工事等事務所長表彰式について（お知らせ）

優良工事の表彰は、北陸地方整備局千曲川河川事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的としています。

今年度は、平成30年度に完成した工事22件、委託業務27件の中から事務所長表彰の優良工事等を下記の通り選定し、表彰式を実施しますのでお知らせします。

●表彰日時 令和元年 7月24日（水） 10時00分～

場所：千曲川河川事務所 大会議室（2階）

長野市鶴賀字峰村74 TEL 026-227-7611

■事務所長表彰

1. 優良工事

株式会社 鹿熊組 「福島築堤その2工事」

2. 優良建設技術者（工事）

株式会社 鹿熊組 甲田 義信（こうだ よしのぶ）

3. 優良委託業務

パシフィックコンサルタンツ株式会社 長野事務所
「平成30年度千曲川中流域自然再生検討業務」

4. 優良建設技術者（委託業務）

パシフィックコンサルタンツ株式会社 長野事務所 本多 信二（ほんだ しんじ）

5. 優良工事における下請負者

飯山陸送株式会社 （優良工事 福島築堤その2工事）

株式会社 峯村組 （優良工事 波田上島及び押出護岸災害復旧工事）

6. 優良工事における下請負者の技術者

飯山陸送株式会社 月岡 孝夫（つきおか たかお）

株式会社 峯村組 倉科 知史（くらしな ともふみ）

■局長表彰（披露）

1. 優良工事

松本土建 株式会社 「波田上島及び押出護岸災害復旧工事」

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
工事品質管理官 三浦 義則（みうら よしのり）



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック

千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>



日時: 令和元年7月24日(水)

AM10:00~

場所: 長野県長野市鶴賀字峰村74

千曲川河川事務所 大会議室(2階)



平成30年度完成 優良工事 【事務所長表彰】

受注者	株式会社 鹿熊組 代表取締役 鹿熊 厚 長野市鶴賀緑町1631番地3号	事務所名	千曲川河川事務所
		工期	平成29年12月19日 ～ 平成30年10月31日
		請負金額	204,476千円
工事名	福島築堤その2工事	工事場所	長野県須坂市福島地先
工事概要	<p>千曲川右岸の須坂市福島地先において、高さや断面が不足している堤防の、拡幅、嵩上げ、及び堤防兼用道路（県道）の幅員改良も一体で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川土工（築堤盛土工） 22,620m³ ・ 法覆護岸工（植生工） 6.650m² ・ 付帯道路工（ガードレール） 224m ・ 付帯道路工（As舗装工（県道）） 2,160m² ・ 付帯道路工（As舗装工（管理用通路）） 738m² ・ 付帯道路工（As舗装工（坂路）） 951m² ・ 排水構造物工（ふとんかご） 322m 		
推薦理由	<p>本工事は、千曲川右岸堤防改修事業において、最初に着手し、先行した工事であり、着手前の関係機関、地元協議、着手後の施工管理において困難な問題が明らかになったが、その都度、積極的な提案を行い克服した。また、通行量の多い、堤防兼用道路を全面通行止めにし、築堤工事を行ったが、道路利用者や周辺住人に配慮し、適切な迂回路の案内や、広報活動に努め、トラブルや事故なく工事を完成させた。近接あるいは後発工事の模範となる工事であった。</p>		

平成30年度完成 優良建設技術者（工事） 【事務所長表彰】

技術者	(こうだ よしのぶ) 甲田 義信 (監理技術者)	事務所名	千曲川河川事務所
		工事名	福島築堤その2工事
		工事場所	長野県須坂市福島地先
	株式会社 鹿熊組 代表取締役 鹿熊 厚 長野県長野市鶴賀緑町1631番地3号	工期	平成29年12月19日 ～ 平成30年10月31日
推薦理由		請負金額	204,476千円
		<p>本工事は、通行量の多い堤防兼用道路を全面通行止めにした工事で、道路利用者や周辺住民に配慮し、適切な迂回路の案内や広報活動に努め、施工中に明らかになった課題については積極的な提案を行い、抜群の統率力、判断力、調整能力をもって工事が無事故で完成した。その成果は当該工事だけでなく、隣接工事、後発工事も含めてのコスト縮減、品質向上、環境への負荷軽減にも貢献した。</p>	

平成30年度完成 優良委託業務 【事務所長表彰】

受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 長野事務所 所長 稲見 浩一 長野県長野市中御所4丁目2番地	事務所名	千曲川河川事務所
		業務名	平成30年度千曲川中流域 自然再生検討業務
		工期	平成30年 4月10日 ～ 平成31年 3月27日
		請負金額	47,228.4千円
推薦理由	<p>本業務は、千曲川中流域において、自然再生事業を実施するため、「千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会」（以下、「検討会」）との連携・協働により、河川管理者と沿川地域の関係者や学識者による総合的、効果的かつ効率的な事業推進を図り、砂礫河原環境の保全・再生、外来植物の拡大抑制に効果的な河川管理手法の確立を目標に業務を行うものであり、併せて、信濃川総合水系環境整備事業の事業評価に係わる各種資料を作成するものである。</p> <p>業務遂行にあたっては、モニタリング調査計画の立案を行い、現地では、植生、鳥類、水生生物等の調査を継続的に実施、その結果を解析・取りまとめるとともに、過年度に実施した事業箇所状況を調査分析・評価し、砂礫河原再生及び特定外来植物の抑制に効果的かつ効率的な最適手法の検討を実施し、「検討会」等に報告・提案、その意見等を受けさらに検討を重ね、次年度事業箇所へ反映をしたものである。</p> <p>また、事業評価の資料作成においては、WEBアンケートを提案、実施し、事業評価要因分析に必要な受益範囲の検討等に活用しながら必要な資料作成を行ったものである。</p>		

平成30年度完成 優良建設技術者（委託業務） 【事務所長表彰】

技術者	(ほんだ しんじ) 本多 信二 (管理技術者) パシフィックコンサルタンツ株式会社 長野事務所 所長 稲見 浩一 長野県長野市中御所4丁目2番地	事務所名	千曲川河川事務所
		業務名	平成30年度千曲川中流域 自然再生検討業務
		工期	平成30年 4月10日 ～ 平成31年 3月27日
		請負金額	47,228.4千円
推薦理由	<p>本業務は、千曲川中流域において、自然再生事業を実施するため、「千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会」（以下、「検討会」）との連携・協働により、河川管理者と沿川地域の関係者や学識者による総合的、効果的かつ効率的な事業推進を図り、砂礫河原環境の保全・再生、外来植物の拡大抑制に効果的な河川管理手法の確立を目標に業務を行うものであり、併せて、信濃川総合水系環境整備事業の事業評価に係わる各種資料を作成するものである。</p> <p>業務遂行にあたっては、モニタリング調査計画の立案を行い、現地では、植生、鳥類、水生生物等の調査を継続的に実施、その結果を解析・取りまとめるとともに、過年度に実施した事業箇所状況を調査、分析・評価し、砂礫河原再生及び特定外来植物の抑制に効果的かつ効率的な最適手法の検討を実施し、「検討会」等に報告・提案、その意見等を受けさらに検討を重ね、次年度事業箇所へ反映したものである。</p> <p>また、事業評価の資料作成においては、WEBアンケートを提案、実施し、事業評価要因分析に必要な受益範囲の検討等に活用しながら必要な資料作成を行ったものである。管理技術者は、これら多様な業務にあたり高いリーダーシップを持って業務を遂行した。</p>		

平成30年度完成 優良工事における下請負者・技術者【事務所長表彰】

事務所名	千曲川河川事務所	
優良工事名	福島築堤その2工事	
元請推薦業者名	株式会社 鹿熊組	
下請負者名	飯山陸送 株式会社	住所：長野県飯山市大字静間280番地1号
主任技術者名	月岡 孝夫	(つきおか たかお)
専門工事業	とび・土工工事業	
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河川土工（築堤盛土工） 1式 ・築堤盛土工 22,620m³ ・土砂等運搬工 24,230m³ ・法面整形工 12,510m² ・構造物取壊し工 1式 ・仮設工 1式 	
推薦理由	<p>築堤工事の経験が豊富であり、早期の段階からICT施工を取り入れ施工している。特にバックホウの施工では、マシンコントロールとマシンガイドシステムを用途により使い分け施工速度を早め、且、仕上げ面を正確に仕上げた。</p> <p>工程では、出水期までに完了させる土工の所定盛土を厳守したことにより、その後の工期が順調に推移し工事を完成できた。また、盛土工事の生命線とも言える土取場では、出水期対応で千曲川本流沿いに多少の増水でも冠水しない小堤防を築き、本流水位低下とともに作業開始できるように設置したが、増水で小堤防の断面欠損が発生。その都度、腹付け盛土を行い小堤防の断面維持に尽力して順調な工程確保に努めた。</p> <p>日々の打合せ、月例の打合せを積極的に参加し、教育訓練時では先頭にたって全員をまとめ協力した。また、構造物班と土工事が並行作業となる場合でも協力会社間の調整役を積極的に行い、無事故に貢献した。</p>	

平成30年度完成 優良工事における下請負者・技術者【事務所長表彰】

事務所名	千曲川河川事務所	
優良工事名	波田上島及び押出護岸災害復旧工事	
元請推薦業者名	松本土建 株式会社	
下請負者名	株式会社 峯村組	住所：長野県大町市大町1300番地
主任技術者名	倉科 知史	(くらしな ともふみ)
専門工事業	とび・土工工事業、石工事業	
工事内容	<p>本工事は、平成29年7月出水にて被災した護岸を2工区合わせて、約200mの延長を施工したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川土工 15,400m³ ・法覆護岸工（練石張） 3673m² ・護岸基礎工 プレキャスト基礎 199m ・根固めブロック製作据付 515個 ・水制工 巨石水制設置 3基 ・木工沈床 624m² ・応急処理工 1式 ・構造物撤去工 1式 ・仮設工 1式 	
推薦理由	<p>本工事は、2工区あり、濁水期（10月～3月）で河川内工事を完成させる必要があった。その中で2工区ほぼ同時に施工することと工期的な制約から、根固めブロック、木工沈床を設置するための河道掘削の施工をしながら、施工時間のかかる練石張については先行して上段部に集中的に人員・機材を投入して、上段部の完了した箇所から随時下段部を施工する計画を協力会社とともに提案し、工期内に無事故で工事を完成させたものである。さらに仮締切の施工にあたっては、河川の水衝部で土工を施工することになり、2工区同時の仮締切り及び瀬替えの施工が重要な課題となった。元請け業者と調整しながら2工区同時に瀬替え、仮締切り等を施工し、濁水の影響を最小限にする施工を行い、漁業協同組合等から苦情もなく工事を完成させた。</p> <p>また、工期内で2回「氾濫注意流量」を上回る出水があり、本工事の施工箇所において、本復旧前に緊急的に根固めブロックを設置する必要が生じた。その際、資機材の手配、人員の確保等、被災箇所の拡大防止を元請け会社と連絡調整を密に図りながら迅速に対応した。</p>	